

S S T L

NO. 84 24. 5. 16

職場参加ニュース



6/16
(日)

総会 & 職場参加の危機を考える会

総会 / 13時～14時 職場参加の危機を考える会 / 14時20分～16時00分

@越谷市中央市民会館5階4, 5, 6会議室

会員、読者のみなさん、いかがお過ごしですか。

当法人は発足から二〇年を越えましたが、これまで当法人の本部として、ハローワーク越谷はす向かいの職場参加ビュロー一世一緒に運営してきました。主に退職後や在宅の障害者が当番で支え、地域のみなさんの応援で維持してきました。

この世一緒にのひらかれた、そしてゆつたりした雰囲気の特徴づけてきたのは、日替わり当番や常連の多くが退職後等の障害者スタッフたちで占められていたこと (BRUTUS) にも載ったしらこばと笛の絵付け作家たちです。

しかし、昨夏以降、その人たちの入院やその後の入所といった状況が続き、まだ残っている当番スタッフたちの中にも体調不良で休みが続くといった状況が生じています。

月曜当番だった佐藤秀さんは、高熱で緊急入院後、お泊りデイからサ高住に入居しました。

常連の癸生川さんは、道路で転倒した後硬膜下血腫で緊急入院し、遷延性意識障害となったままです。

同じく常連の水島さんは、入院後体力が落ち、リハビリ入院後、一人暮らしに復帰し、新たにデイサービスに週

3日通い始め、ようやく歩けるようになり、時々顔を見せられるようになりました。

街づくりに、県庁内福祉の店かつぽに、わら細工に、そしてたそがれ世一緒に管理人として動き回ってきた電動車いすユーザー・樋上さんも、股関節の痛みが強く、アパートから外へ出るのが困難な日もあるため、電話でもいいから朝声をかけてくれる人を募り、その声に支えられて出かける日々。

金曜当番の友野さんは、持病の喘息で出て来れない日が増えているようです。

そんな中、てんかん発作を告知しながら障害者や高齢者の介護をしているふくちゃんこと吉原さんが、昨年からは水曜の当番に入るように。

なお、先日から、職場参加ビュロー一世一緒にの壁に、龍弓士さんのアート作品が掲げられ、ご本人や知人の方が、時々鑑賞にいられています。ご本人は統合失調症で、ほとんど外出されず、自宅で制作を続けられておられます。みなさんも世一緒にの前を通りかかったら、作品を味わってみては。

こんな風に、職場参加ビュロー一世一緒に、満身創痍の中から、この今だからその発信を続けながら、新年度を迎え、この1年間はあらゆる工夫をしながら続けてゆくことを確認しています。と同時に、変わりゆく状況をみつめ、自らをふりかえりながら、次世代へ託してゆかねばなりません。

そして、次世代といえば、就労継B型事業所せんげん台「世一緒に」を足場として、職場参加、社会参加へ一歩を踏み出した通所者たちや支援者、ご家族の方々の顔が浮かんできます。

おつきあいとしてはまだ始まったばかりの方々もおられますが、この1年の間に互いに知り合い、伝えられることは余さず伝えてゆきたいと思っています。障害福祉サービス事業所という制度の利点とともに縛りもある中で、制度の枠外での地域の様々な団体、個人、そして自治体等の応援を受けながら、さまざまな顔と顔がつながり、一緒に苦勞しながら共に生きる職場・地域をひらいてゆけることを願っています。当面する「職場参加の危機」をみつめ、危機の底から「共に生き・共に働く」明日を育てたいと思っています。総会とその後の「危機を考える会」へどうぞ。お待ちしております。



NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会

第1部 2024 年度定期総会

6月16日(日)

越谷市中央市民会館5F

第4、5、6会議室

13:00～14:00

開会の挨拶

市長メッセージ

<議 事>

2023 年度事業報告

決算報告

監査報告

2024 年度事業計画案

予算案

定款変更

役員選出

閉会の挨拶

第2部 <ワークショップ> 職場参加の危機を考える会

6月16日(日)

越谷市中央市民会館5F

第4、5、6会議室

14:20～16:00

ワークショップは会員以外の方も歓迎します。

私にとっての「職場参加の危機」って？「職場」、「地域」の側からの「危機」は？

会員の中には手で話す人や、場の雰囲気自分なりに感じ取る人もいます。いろんな人が一緒にいて、知り合い、伝え合う場をめざしたいです。

(参加費無料、カンパ制)

2023 年度会費、寄付ご納入ありがとうございました。

(五十音順、敬称略)

【正会員会費】青木繁明、阿久津康仁、朝日雅也、有竹和子、伊藤峰子、内野かず子、大坂富男、大田ちひろ、大塚眞盛、沖山稚子、尾谷英一、黄川田仁志、木下恭子、越野操、小森陽子、佐藤邦弥、佐藤秀一、澤則雄、清水泉、清水泰代、竹迫和子、巽孝子、巽優子、谷崎恵子、辻浩司、辻彩子、友堅由紀恵、中山佐和子、西陰博子、野村康晴、長谷川颯、幡本洋子、原和久、原田真弓、樋上秀、日吉孝子、正木敬徳、松尾晃史、松山美幸、水谷淳子、水谷浩志、谷塚祥子、山崎かおる、山崎泰子、山崎有子、山田裕子、吉田久美子、吉原広子

【賛助会員会費】上野豪志、大武昭、及木聡、川口裕之、佐藤恵美子、島根淑江、津崎悦子、並木理、森田譲二、山崎茂

【団体会員】くらしセンターべしみ、NPO 法人共に生きる街づくりセンターかがし座、春日部市障害者生活支援センターえん、CIL わらじ総合協議会、精神障害者の自立生活をすすめる会

共に働く街を創るつどい2023・パネルディスカッション

地域共生めざす市民事業一直面する諸課題とどう向き合うか —労働者協同組合法施行後1年の報告を受けて考える（前号のつづき）

パネリスト：須賀貴子さん（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団埼玉事業本部埼玉西南地区エリアマネージャー）、青山享美さん（越ヶ谷こどもカフェ食堂ぼらむの家代表）、山下浩志さん（NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会事務局長）、田嶋康利さん（日本労働者協同組合連合会専務理事）

コーディネーター：朝日雅也さん（埼玉県立大学名誉教授）



福祉サービス事業で「共に」をめざす「矛盾」について

朝日 須賀さんから矛盾があるとお話をいただき、山下さんからも法人として公的な事業を担っていく難しさがあると伺った。須賀さんの場合、もしかしたら組合員として働く人の給料と利用者として働く人の工賃との差なのかもしれませんが、そこはどう考えるべきでしょうか。

田嶋 わっぱの会なんかは、丸ごとお金をいったんプールして、働く人と利用者に分け隔てなく分配金として配る方法もあるだろうと言っていた。でも、それは相当な合意がないと困難。そういう合意にいたるプロセス自体、私たちはできていない。たとえばA型の問題でいうと、A型は雇用契約を結んでいるので組合員にしくちゃいけないんじゃないかという声を、きょうされんや共同連の方からいただいた。だがそれならむしろA型の制度そのものを改革すべき。

また、第3のやり方として、イタリアの協同組合のような、たとえ組合員にならなくても、就労困難者が働く人の3割いれば、一定の助成が出たり公共調達ができる、その中で対等平等の賃金を払えるように、制

度を変えていかないといけない。

朝日 須賀さんは今のお話を聞かれて、矛盾についてあらためて思われたことはありますか。

須賀、事例で紹介した一人は、支援学級や学校ではなく、普通の小・中学校を出て、高校も何度もやり直しをして卒業した。できることは限られているが、他の組合員と同じ給料をもらっている。

豆腐工場の経営が厳しくて1回規模を縮小した時に、失礼かもしれないけど、福祉制度を勧めようと思い親御さんと話した。その時親御さんに「いままで非常勤で働いていたので税金を払って来なかった。でもワーカーズコープで働いて、ようやく自分で保険料、税金を払えるようになってすごくうれしい」と話された。

そういう仲間を支えていくのが、この職場なんだと。そういう矛盾もありながら、でもどこかで折り合いをつけていくのもこの職場の役割だし。矛盾は尽きないが、その矛盾をどう超えられるか、どう各々が折り合いをつけられるかが大事なのかなと思った。

朝日 矛盾に対して、白か黒かではなく、その人のそこに至るまでの生活状況や思いとも協同すると。

では、青山さん、ずばりどういう法人化を検討されておられますか？

青山 いま、NPO か一般社団がで動いている。種買があるとかないとか関係なく、ここにはどなたでも参加できる。任意団体で子ども食堂をやってる立場から言うと、あの子は障害があるとか、あの子は〇〇だよっていうところが気持ち悪いと思っている。教育現場がこの子は支援級、この子はここに入れない子、健常者って分けてること自体が、すごく違和感がある。

朝日 山下さん、さきほど、NPO は福祉、教育、文化活動等含めて非営利の活動に向き合っていく、一方労働者協同組合は働くことを通してそれらの課題に向き合っていくということで、今日は綿密な振り返りをいただいたが、今の当会が置かれている現状の中で、労働者協同組合の考え方をどうとりいれてゆきますか。

山下 労働者協同組合は世界的にさまざまな取り組みがなされており、学んでいきたい。私も学生時代から社会運動に参加したが、ひとりひとりが地域の中で他の人とどんな関係を結んでいるのか、そこで働きあうことを経済とすれば、そのことを考える積み重ねがないと政治も変わらない。一時的に変わったとしても、けっきょく元の木阿弥になるんじゃないかということを感じている。田嶋さんのお話しの中にあった、イタリアの協同組合の「誰も普通じゃない」という言葉は名言だと思った。

朝日 田嶋さんのお話の中で「オルタナティブ」というのは「もう一つの働き方」という意味だと思いますが、田嶋さんこのあたりはいかがでしょう。

田嶋 かつて社会運動といえば権力を交代するといった発想になりがちだった。その失敗がソビエト社会主義連邦だったのではないか。宇都宮健児さんが、いろんな団体の中でどういう運営や取り組みをしているのか、それが社会となった時に試されていると言われ

た。その通りだと思う。また、労働者協同組合の組合員である以前に地域の住民としての自覚を高めなければ、職場だけの協同になってしまう。

朝日 山下さんのご意見とも共通して、たとえば障害者就労であれば雇用・就労の制度ももちろん意識しなければいけないが、それを变えるには地域を通した仕事や関わり合いであり、職場参加という所から、地道ではあるがそこから発信していく大切さを感じた。

では、終わりに1人30秒ずつ、メッセージを。

田嶋 職場参加というテーマだが、参加する職場がどういうところかが問われているのではないか。アメとムチで働かせる職場なのか、働いている人間たちが1人1票議決権が与えられてモノを言える職場なのか。その民主主義と自治を職場につくるのが協同労働・

山下 青い芝の代表だった横塚さんが、「障害者が介護を受けるときに、ちょっと腰を浮かすのは労働だ」と言ったことを前に批判的に書いたが、あらためて今大事なことを言っていたなと思った。

須賀 今日皆さんの話を聞いていて、分断をどううずめていくのかが非常に大事だと思った。協同労働ってよくわからない難しい働き方だと思うが、分断を埋める仕組みだと思うので、これからも頑張るってゆく。

青山 まずは一人一人が目を見て挨拶するとか、忘れていたようなことを、みんながちょっとずつ、それをやれば……。誰が隣に住んでいるかわからないじゃなくて、自分以外の人を気にかけてみるってことをやれば、温かい社会になっていくのではないかなと思う。

朝日 地域づくりを仕事にするという共通性、仕事が地域を変えていくという展望、それを大事にしてゆくことが地域の中のコモン、社会的共有財産になる。当会としては職場参加という考え方が、障害者だけでなく「職場参加 for All」、すべての人の職場参加という視点だと。ジレンマも矛盾も多いかもしれないが、議論のスタートに立てたと思います。（完）

佐藤さん・水島さん近況

よいしょの月曜日の当番をしていた佐藤秀一さんが、高熱で緊急入院した。その後お泊りデイからサ高住に入院。さらに水島さんも、入院後体力低下からリハビリ入院を経て一人暮らしに復帰。新しくデイサービスに週三回通い始めた。

二人とも地域と交流することが難しい状況にありながら、繋がりを維持できるように奮闘している。その二人の現在の様子を、本人の言葉で紹介する。

佐藤 秀一

これからは、よいしょのみんなによいしょに行って話したりしたいです。よいしょだけじゃなくて、生活クラブの人と蒲生で歩いたりすることがありました。ありがたうと言いたいです。また参加したいと思っています。

自分の体のことについて、調子の悪い所は無いです。ただ、足を引きずって歩いています。これからやりたいことは、みんなと歩いて、はやく働きたいです。

いま朝五時半には起きて、お母さんに自分から電話をかけてます。毎日「おはよう」、変わらない、ということ伝えてます。親族とか家族以外は面会に来たことがないです。でも、せんげん台に5月の16日に行きます。車で迎えに来てくれます。

最後に一言。みんなで、会いましょう。



「私と入院生活」水島 茂治

去年、11月の日健身会クリニックにて、心ぞうの検査を受けて急せいじんぞうえんと判明しました。12月の始めに東京医科歯科大学病院に入院をいたしました。入院

期間、約四週間じゃく入院し、その間じんぞうとかはんしのストレッチをしてくれました。

内容は、じんぞうは、約一週間、残りの三週間はリハビリを忠心にやってくれました。

身体全部のリハビリとせい神面のリハビリをして助かりました。

それでも準備期間、がありました。



そして、入院生活、クリスマス、お正月をすごすとはおもいませんでした。自分なりにショックを受けました。

そうこうしてる間医科歯科大学病院の退院が決定をしました。

R六年一月十五日に決定しました。

退院では無、転院でした。

その日の朝、九時四十分退院しました。転院先は、越谷新越谷病院にうつり、朝10時45分ごろついたと思います。

新越谷病院でのリハビリ生活が始まりました。自分の中で、生れて始めての車いすにのるとおもわなかったです。約二週間、すごした。その間自分なりつらかったです。車イスの生活も終了し本格的にリハビリ開始。

身体的にすごくかたかったのとてつらかった。でもパンツクツ下ズボが一人ではける様になったのはうれしかったです。新越谷病院も退院が決り、三月十五日に決定。

とてもうれしかったです。

また自分の生活の中で、デイサービスという生活が始まり、三月二十六日、火曜日、開始になりました。店名は、デイサービスさんすまいる。火木土周三日、これから自分の新生活が始まりました。又そのつど報告いたします。



5月29日(水)

長谷川 なつさん

高齢者施設職員

障害者達と富士登山

車いすで富士登山するのでボランティア募集との呼びかけに応じて同行。後になって知った登山と障害者運動の深い関係とは。

6月5日(水)

水谷 淳子さん

耳鼻咽喉科開業医

コロナ、ワクチンに学ぶ

コロナワクチン接種後死亡した遺族が国に賠償求め訴え。厚労省は「リスクの周知は行っている」と居直り。多数の生命を犠牲に、いま学ぶべきことは。

6月12日(水)

野島 久美子さん

埼玉障害者市民ネット

県庁トイレにリフト

バリアフリートイレが増えたが、重度障害の身には使えないものもある。こうしてほしいと当事者自ら働きかけが大事。そうやってついにリフト付きトイレが県庁に。

6月19日(水)

長岡 甫さん

名古屋大学修士課程

Lunch Café どんこいしょ

社会教育と障害者運動

社会教育で見すごされてきた障害者が、健常者とともに共生の地域づくりの主体となって活動してきた埼玉などの運動に着目し、研究を始めています。よろしく！

6月26日(水)

未 定さん

せんげん台すいごご

未 定

7月3日(水)

萩原 秀司さん

地活パタパタ

悪さはやったが II

脳性まひで生まれ、幼稚園から中学まで地域で学び、ワルいことはひととおり。養護高等部にはなじめず卒後はパチ、呑み、出会い系・でわらじの会へ そのPart II

せんげん台「世一緒」です！

[ホーム | せんげん台「世一緒」\(sengendai-yoisy.com\)](http://sengendai-yoisy.com)



(野菜の収穫)



世の中、一緒だよ！

『障害のある人もない人も、
ともに街へ、職場へ』



(ミカン狩り)

ご利用までの流れ

利用相談 → 見学 → 体験 → 利用申請 → 利用開始

●そんなあなたにぴったりのB型です！

一般職場で体験・実習を経て就職、短時間就労しながら、職場の休みの日には地域での交流や生活づくりもしたい方

就労継続支援B型「世一緒」

時間をかけて作業や施設外就労しつつ、職場体験・実習もしながら、自分に合った就労と生活づくりをめざしたい方

- ・生活リズム作り、居場所作り
- ・楽しく取り組むグループワークで仕事体験
- ・さまざまな外部企業実習での職場体験
- ・一緒に働く仕事探しや会社訪問
- ・短時間(週20時間以上)、超短時間(20時間未満)で一般就労しながら、地域と交流して、生活の場を広げよう！

- ・生活リズム作り、居場所作り
- ・ゆっくり時間をかけて積み重ねる社会経験
- ・作業に応じて支払われる工資収入
- ・それぞれの適性と希望に合った就労をめざそう！

「世一緒」は、あなたのもうひとつの居場所。地域・職場の人と触れ合い、生活の場を広げることで、「働く力」「生きる力」を育むところです。

(市役所の横でも毎週野菜を売ってます)



(職場体験中です)



見学・体験いつでもOK！



(せんげん台のお店の前で毎朝10時から地元の新鮮野菜売ってます)



世一緒はあなたの「働きたい、自立したい」を全力で支援します。まずはお電話か、ホームページからのメールで〜♪



GALLERY KOTOYA (せんげん台「世一緒」を併用し超短時間就労する大野さん撮影)



あめあがり、蚊がいたかなと思っただけ、風が強かったからいなかったね。(谷崎)



ニンニクいっぱい取れたよー(大野)

⑦



今日のキッチンとまとの弁当は、長芋コロッケです。(大野)

競場参加ビュロー世一精 2024.5.1~2024.7.31 カレンダー (2024年5月16日 制定)

2024年5月				2024年6月				2024年7月			
日	日中行事	注	日	日中行事	注	日	日中行事	日	日中行事	注	日
1日	水	当番会議	1日	土		1日	月	1日	月	馬場科除草	
2日	木	なぞがれ	2日	日		2日	火	2日	火		
3日	金		3日	月	馬場科除草	3日	水	3日	水	当番会議	すいごど(新着人入)
4日	土		4日	火		4日	木	4日	木	なぞがれ	
5日	日		5日	水	当番会議	5日	金	5日	金	なぞがれ	
6日	月		6日	木	なぞがれ	6日	土	6日	土		
7日	火		7日	金	なぞがれ	7日	日	7日	日		
8日	水	当番会議	8日	土		8日	月	8日	月	馬場科除草	
9日	木	なぞがれ	9日	日		9日	火	9日	火	水辺の市	
10日	金	なぞがれ	10日	月	馬場科除草	10日	水	10日	水		
11日	土		11日	火	水辺の市	11日	木	11日	木	なぞがれ	
12日	日		12日	水		12日	金	12日	金	なぞがれ	
13日	月	馬場科除草	13日	木	なぞがれ	13日	土	13日	土		
14日	火	水辺の市	14日	金	なぞがれ	14日	日	14日	日		
15日	水	競場参加を語る会	15日	土		15日	月	15日	月		
16日	木	なぞがれ	16日	日	すずめる会	16日	火	16日	火		
17日	金	なぞがれ	17日	月	馬場科除草	17日	水	17日	水	競場参加を語る会	
18日	土		18日	火		18日	木	18日	木	なぞがれ	
19日	日		19日	水	競場参加を語る会	19日	金	19日	金	なぞがれ	
20日	月	馬場科除草	20日	木	なぞがれ	20日	土	20日	土		
21日	火		21日	金	なぞがれ	21日	日	21日	日		
22日	水		22日	土	なぞがれ	22日	月	22日	月	馬場科除草	
23日	木	なぞがれ	23日	日	なぞがれ	23日	火	23日	火		
24日	金	なぞがれ	24日	月	馬場科除草	24日	水	24日	水	なぞがれ	
25日	土		25日	火		25日	木	25日	木		
26日	日		26日	水		26日	金	26日	金		
27日	月	馬場科除草	27日	木	なぞがれ	27日	土	27日	土		
28日	火		28日	金	なぞがれ	28日	日	28日	日		
29日	水		29日	土		29日	月	29日	月	馬場科除草	
30日	木	なぞがれ	30日	火		30日	水	30日	水		
31日	金	なぞがれ	31日	日		31日	木	31日	木		

の年は、リハビリを兼ねた【一週間】の屋外のアルバイトです。グループでやるので、初めての方でも大丈夫です。
は、楽なまの道順の付けは、その普及・開発のための研修や新着同僚です。
は、開業のある人や他の人々が目撃わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り聞きます。あななもどろそ

す い ご ご

FLASH

●2024年4月17日 大津敬さん(特定非営利活動法人
精神障害者の自立生活をすすめる会 代表理事)



バンド経験から楽器に関する学校へ行くも、仕事にするほどではないと服飾系の会社で働く。結婚して、法人の前代表の義父から後を継いでほしいと言われ、やってみることにした。働いてみて、障害者がいる世界とない世界があるなど。仕事を通し、無知から来る怖さみたいなものはなくなった。色々な人がいることを知れば自分も楽になれると思う。志はまだないが、ゆるく関わる中で精神障害があっても普通の人だよ、と伝えていきたい。

●4月10日 猪瀬 佳子さん(地域活動支援センター農
あぐり職員)



荻原さんと出会ったのは10数年前。代表を務めていた心身障害者地域デイケア施設の通所者として市から紹介された。荻原さんが初めて「制度」と出会ったのは、小学校に支援学級ができた時。「よくなったら戻れる」「社会参加できる」と言うが、通常の学級とは全く違う授業を受け、通常学級に戻れる筈もなかった。わくわくに来て、猪瀬さんらの助言で、定時制高校を受験・合格し、思い出深い4年間を過ごしたが、「障害とは」という疑問は常に残っていた。

●4月3日 青山鉄兵さん(文教大学准教授)



専門は教育学。文部科学省「障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会」委員を務めた。

当会の会員で脳性まひの当事者であるやっちゃんとは、ファミリーキャンプで一緒に過ごした。20年後、二人で時々飲むように。大学の手話サークルで初めてろう者と出会った時、動機は不純な方がいいかもと思った。通訳、奉仕に集中するというより、ろう者の友達と飲み歩き、遊ぶことが楽しいからだ。100人の通訳者よりも、片言でもいい、1万人の手話へ。支援する一されるという関係ではない、ひっくり返った関係が大事だ。

●3月6日 山崎純子さん(元保育士)



市立保育所勤務の傍ら、かつて福祉会館で開催された市民文化祭に参加。コロナ1年目も、マスクをして間隔を取り、窓を開ける等して、合唱した。

合唱を始めてから50年近く。子育てクワイエにも参加している。こどもと一緒に何かやると、楽しい、もっと勉強したいと思う。学校はその単位、単位でまとまった行動をする状況に陥りやすいが、子どものいろいろをもっと認める社会であってほしい。若い人たちにも、ぜひ夢中になれることを探してほしい。

●2月28日 大塚隆弘さん(せんげん台「世一緒」職員)



大塚さんの山との出会いは故郷の山。修験道の霊山として名高い英彦山は、親と一緒に登ったりキャンプしたりした。高校の校庭から見えていた香春岳は、三つの峰からなり、青春の思い出深い山。今は一つ目の峰が石灰岩採掘で平らになってしまっている。

自分が実際に山に登るようになって感じた面白さは、見たことのない景色、テント生活の楽しさと食事、頂上までたどり着いた時の達成感の三つ。

●2月14日 植田涼さん(自立生活センター所沢ファントム代表理事)



一社・埼玉障害者自立生活協会の事務局長を務め、その後NPO法人ソーシャルクリエイターズの理事を務める。志果たせぬまま同法人解散を迎え、今後を模索している。

代表理事として、コロナ前はミュージックフェアを開催。実行委員会を立ち上げ、会場確保にも足を運んだ。現在母が認知症になり、生活の場所に悩んでいる。自宅に戻るのは無理か、でも自分で見たい、自宅をカフェにして、お客さんと一緒に母を見ることができないか、など、悩み、夢を語り、また悩む。とつとつと語った。

世一緒スタッフ日記

最近の一週間

友の 庄紀恵

みなさんこんにちは、月よう日、か
いぎにでています。で、リハビリへ
なんぶこうせいびよういんいつてま
す。火よう日、パタパタまでともだち
といっしょに2人でまいしゆういく
ときだけそうげいしています。そのあ
とべし17じすぎまでいてえきまで
おくつてもらっています。月一回のだ
いちすいよう日は前の月、とうばんで
したことの、とうばんかいぎにでてい
ます。木よう日、17じすぎまでいて、
えきまでおくつてもらっています。金
よう日、10じから16じまでこしがや
よいしよのとうばんできてます。土よ
う日、日よう日は、かつどうがおやす
みなで、たりないものとかいものに
がくせいとか、あさのかいじよの人と
かいものにいっしょにっています。

みじかな話し

青木 繁明

生活が、らくらくの時は、お茶会み
たいに3〜4人で朝マックと小一時
間ぐらい待合せをしたりして、お互い
の気分や、健康相談の話しをしたり
2日〜3日ぐらい健やかな身体で

世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるために、世一緒に関わっている人々を「スタッフ」と呼んでいます。サポーター（非常勤やボランティア）の支えを受けて、世一緒の当番（ピアサポート実習）や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事（花壇整備、除草、ポスティング）のグループワーク等もしています。元スタッフ等からの近況報告も紹介します。その後せんげん台に就労移行支援・就労継続支援B型多機能事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援もちろん、自主事業の世一緒（越谷）と連携して、多様な就労やピアサポートを支援し地域で共に生きる輪を拡げてゆきます。

自己紹介と近況報告

山本 高行

あれと祈る思いで、4名。吉田、白石、大内青木、さまざまの方々です。グループホーム中古車を、かつてから遊行為多く横浜中華外やイチゴ狩りなどお金によゆうのある方たち。
私は決して元氣ではないかも知れない。じんぞうに、かかつて。まだいろいろな薬とうをのんでいるからかそうふうにみてとれる。余りにしにない様になっている。小さい子供を見て、元氣な自分になる。

仕事は辛いけど……

N.S

私は今、クローズで、とある病院の看護助手として働いています。入職してから3カ月経ちました。今とても苦しいです。どんなに心が辛くても、クローズの為、誰にも弱音や相談が職場の人に出来ません。ただひたすら、もがいて週5日ぐらい働いています。でも、悪い事ばかりではありません。看護助手の仕事をして、毎日患者様の笑顔がすごく嬉しんです。仕事を覚えるのも、心を安定させるのもすごく大変で辛いですが、もう少し頑張ってみようかなと思っています。しかし、7時45分から17時30分す

資格転じて

吉原 広子

昨年、ハローワークでヘルパー資格を取得しようと、通った初任者研修と実務者研修講座。初任者研修では、これから働こうという方々ばかりだったので、ハローワークに行ったり、施設や企業での研修があった。その時に訪れたデイサービスが、明るい雰囲気、利用されている方々も明るく過ごされて帰られてる。いなりと就職希望を出してみたら、面接に合格。

最初の二カ月間は、午前中風呂介護、午後レクリエーションの手伝い等におわれながらも、笑顔で毎日毎日同じ内容を話される方や「いいいえ、そんな事までして頂いたら、申し訳ありませんから等」丁寧な物腰さを話される方やご自身の名字の凄まじさながら、他の方々のこんな仕事をしていた等の話を聞き楽しい時間を頂きました。

私は2級の精神障害者で、解り易く言うと言病です。10年くらい前になりますが、よくある仕事上の人間関係で良く言えば真面目。悪く言えば融通が利かないタイプの人間なので上司や周りとも馴れ合いになれず自分を追い込んだ結果です。
それから具合はますます悪くなり、人が大勢いるところに行けなくなったり、考え方も自暴自棄になりました。早くに両親が亡くなり、他人様と関わるしか自分が助かる道は無いと思つたのですが、今は薬で病気を抑えこんでる為、何とか均衡を保っていられます。
⑩
それと数年前に脳梗塞で顔面麻痺になりましたが、病気が発覚する前から心と身体が壊れてしまった為、今は生活保護と障害者手当で生きています。おそらく現役復帰は難しいでしょう。ですが、ずっと引き籠もりにもなつてられませんから、最低限動ける範囲でお手伝いをさせてもらっています。リハビリにもなるので、無理のない範囲でこれからは頑張っていけたらと思います。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会